

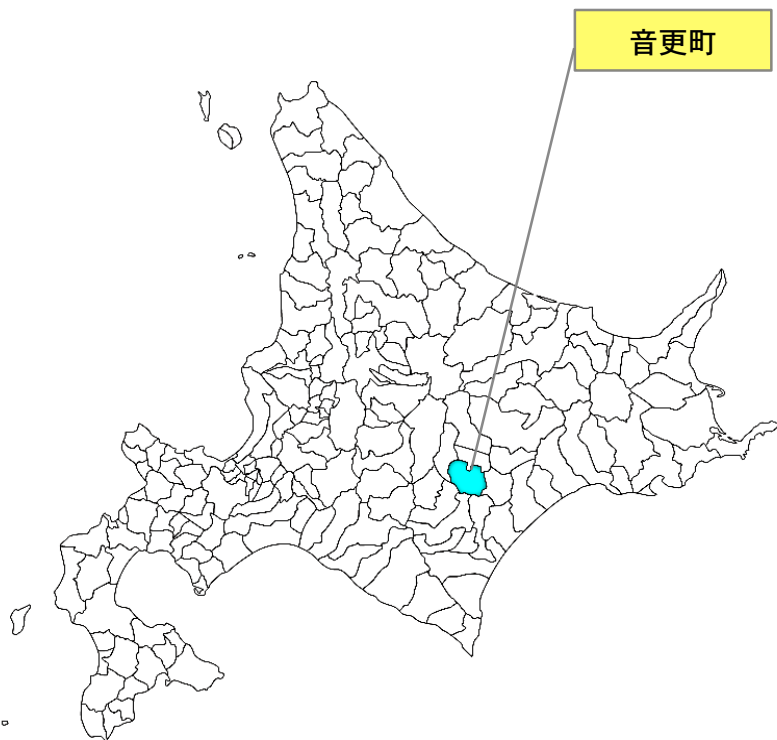
効果的な収納対策を行うための
体制・環境整備に関する取組について

【北海道 音更町】

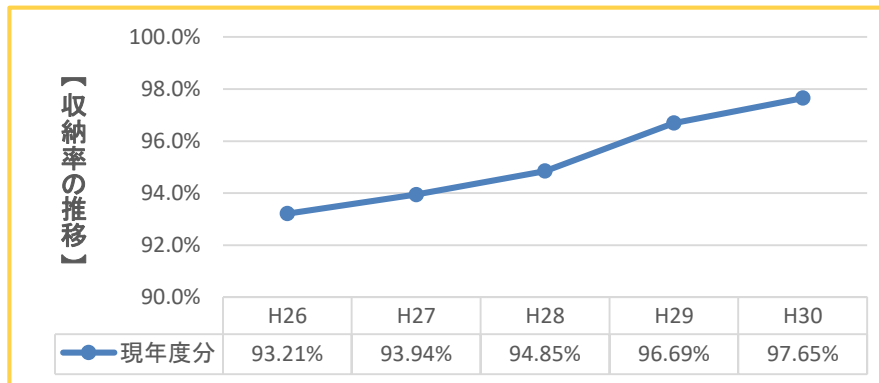
～令和2年度 紹介事例～
北海道厚生局 管理課

音更町(おとふけちょう)の概要

- ・ 音更町は北海道の東部、十勝平野のほぼ中央に位置し、東部の南北に走る「長流枝内（おさるしない）丘陵」を除いてはおおむね平坦。
- ・ 各種農産物の育成に適した地質で、道内でも屈指の穀倉地帯。
- ・ 基幹産業は農業で、主要作物は小麦、ビート、馬鈴薯、豆類、そ菜などで酪農も盛ん。
- ・ 十勝川温泉は、世界でも珍しい「モール（植物性）温泉」として広く知られ、平成16年11月に北海道遺産に指定、モール温泉夢ボタル鑑賞会、十勝川白鳥まつり「彩凜華（さいりんか）」などのイベントが行われ、四季を通して観光客が訪れている。



人口	被保険者数(国保)	加入割合
44,379人	10,070人	22.69%



【数値は平成31年3月末現在】

◆ 音更町の収納業務体制 ◆

◎ 町民課（国保医療係）

： 加入手続きのほか、滞納者への短期被保険者証や被保険者資格証明書の発行を担当。国保税に関して相談があった場合は「収納課」を案内している。

◎ 収納課（収納係）

： 国保税を含む町税等の収納事務を集約して一元的に対応。また、「十勝市町村税滞納整理機構」と連携しながら、処理困難な事案にも柔軟に対応している。

国保税の収納に係る主な取組

- ◆ コンビニエンスストアでの納付が可能
- ◆ 納付書のバーコードを利用したキャッシュレス決済の導入
(令和2年度から)
- ◆ 口座振替への移行促進
(広報紙への記事掲載、納税通知書への申込書同封)

- ①【納付方法の多様化】
②【任意の時間での納付が可能】
- 収納環境の整備
- 日中は仕事で時間が取れないこと、また、スマートフォンの普及、活用範囲の拡大に着目した納付方法の導入により、納期内納付の意識向上に取り組んでいる。

徴収体制の整備

効果的な徴収業務を実施するために

★ 有効なノウハウの取得

- ▲ 外部研修への積極的な参加
- ▲ 先進的な取組を実施している市町村との情報交換
- ▲ 経験豊富な職員によるノウハウの伝達

★ 滞納者の状況に応じた徴収方針の決定

- ・「収納管理システム」の活用による情報共有
- ➔ 個別の対応経過を速やかにシステムに入力することを徹底し、関係職員が随時閲覧、情報共有を可能とすることで、迅速に対応方針を決定。

効果的な徴収業務を実施するための環境づくり ▶▶▶

- ◎ 経験豊富な上司を中心とした複数のチーム編成による滞納整理
- ◎ 収納課内打合せの定期的開催
 - ・ 滞納者に応じた徴収方針の相談ができる環境
- ◎ 徴収方針等の作成
 - ・ 対応経過、徴収方針の速やかなシステム入力を徹底。(担当が変更しても情報共有が容易)
 - ・ 上司を含む関係職員が入力内容を確認することで、状況把握が可能となる上、部下の困りごと(業務遂行上の課題)が把握しやすくなる。

積極的に滞納整理を行う
意識の醸成

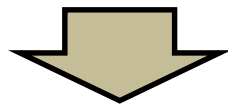
厳格かつ効果的に滞納処分を行うという意識を共有

効果的な「環境整備」が意識向上につながる

- ・ 被保険者が納付しやすい環境
- ・ 滞納処分に必要なノウハウが得られる環境
- ・ 関係職員間で情報共有しやすい環境
- ・ **組織として一貫した滞納処分**を行うことができる環境

環境を整えることで

- ★ 被保険者の利便性を考え、多様な納付方法を導入することで納期内納入がしやすく
- ★ 滞納者には、ルール(規則)を順守しながら、個々の状況に応じて臨機応変に対応



**被保険者の納付意識や職員の徴収業務に対する意識が高まり、
効果的な収納業務の実施が期待される**

※ 上記のような取組を背景に、音更町では近年、国保税の収納率が堅調に伸びている状況にあります。